

人間を見下し神

創造神アテナの物語





【人間を創りし、女神】

創造主、女神アテナは人間に知恵を与えし神。



【女神の願い】

女神は人間に、自らの力で繁栄と共存を願う。



【人間の過ち】

人は己の欲に溺れ互いを傷つけ、やがて争う存在に。



【悲しみから恨み憎しみへ】

願いとは反する行動に女神アテナは過ちを悔い、悲しんだ。その、悲しみは憎しみへ変わる。



【そして、怒りへ変わる時】

過ちを繰り返す人間たち。女神アテナは怒り、制裁を下す決断をする。



【裁きの雷】

「愚かな人間どもに裁きを！」

天の裁き。創り出した人間を一度、浄化し新たな理想郷を創る。



【創造からの破壊】

創造あつての破壊、破壊あつての創造。この二つが世界に均衡をもたらす。



【0-ゼロ-】

無にした世界。

ただ一人、アテナが存在する世界。



【再構築】

憎しみからは憎しみしか生まれない。

今のアテナには人間を再構築することはできない。



【理想郷】
人間を浄化したことで新たな理想郷を創造するアテナ。しかし...



【禁忌】

人間世界を干渉してはならないという神々の掟を破ってしまったアテナは、創造神としての力を失ってしまう。



【愚か】

無となった世界。

そこには、光、闇とも存在しない。草木は枯れ、生命そのものが潰えた。



【人間がもたらしたもの】

人間は、争い傷つきながらも前に進んで来た。そして、長い年月をかけ神なしの力で文化を築き、自然をも守って来た。アテナはその時、本来の人間の姿を知った。



【生きる意味】

人間の表面上の姿しか見てこなかったアテナは自分の愚かさを悔いる。悔いた先にはまだ光は射さない。



【願い】

アテナは、再び創造神としての力を求めた。強く願った。怒りや憎しみの心は浄化され、消えていった。その時…。



【蘇る力】
光がアテナを導く、創造神のしるしを取り戻した。





【再生】

創造神アテナは、舞を舞った。その力が新しい目覚めとなり世界に光が差し込む。





【先の未来へ】

人間はおそらく、これからも変わらないだろう。しかし失敗しながらも、前に進んでいく人間たちをアテナは見守り続けるのであった。永遠に。

人間を見下し神

<http://p.booklog.jp/book/115281>

著者 : kazuphotos

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/kazuphotos/profile>

Instagram:kazuphotos

<https://www.instagram.com/kazuphotos.portrait/>

電子書籍プラットフォーム : パプー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社トゥ・ディファクト